

J R 肥薩線復興アクションプラン 第1期中期計画

J R 肥薩線復興アクションプラン推進会議
観光利用施策推進部会

1 球磨川の自然や地域の文化資源を活かした観光施設・景観の整備

◆2033年度（復旧時点）で目指す姿

- 人吉・球磨地域の観光拠点となる人吉市街地では、青井阿蘇神社の参道整備、球磨川沿いの川床整備、中川原公園の整備等を一体的に推進し、「歩いて楽しめるまち」が形成されている
- 球磨村では、球磨川・鍾乳洞・温泉・棚田等の観光資源を活かした「エメラルドロード」沿いの観光コンテンツが整備されている
- 球磨川の支流である川辺川沿いでは、水辺のキャンプ施設、川遊び施設、森林体験施設等が一体的に整備されている
- 球磨川第一橋梁付近を候補地として、「肥薩線ビュースポット」を整備し、球磨川の自然を背景に列車が走行する姿が地域の代表的な観光コンテンツに発展している
- 球磨川流域に点在する自然観光施設や文化施設等の一体的なPRが行われている

◆2026年度（中期計画終了年度）で目指す姿

- 各市町村の計画へ肥薩線復旧に向けた連携事項が盛り込まれている
- 肥薩線ビュースポットの整備にあたって、候補地が選定され、復旧工事と一体となった基本設計に向けた準備ができている
- 官民連携の手法について、整理されている

◆各年度の実施事項

実施項目	実施主体	2025年度	2026年度
各市町村における観光施設・景観の整備	☆市町村、県	● 各市町村の計画に沿って整備を実施	● 各市町村の計画に沿って整備を実施
市町村横断での取組事項の整理	☆県、市町村、DMO等		● 連携事項の精査 ● 計画への記載案作成
各市町村構想・計画の具体化	☆市町村		● 官民連携手法の検討（PPP/PFI等）
肥薩線ビュースポットの基本設計	☆県、JR	● 候補地の検討 ● 駅からの動線確認	● 駅からの動線確認 ● 基本設計に向けた準備

2 観光の拠点としての人吉駅周辺整備

◆2033年度（復旧時点）で目指す姿

- 人吉駅舎および駅周辺での飲食・商業・学習施設や宿泊施設等の整備を進め、地域の観光・生活・交流拠点に発展している
- 人吉駅前に展示中のSL人吉は、九州唯一の動態保存を実施した上で、博物館の建設や体験乗車の提供等も行い、既設の「人吉鉄道ミュージアムMOZOCAステーション868」と連携した一大観光コンテンツに発展している
- こうした取組を通して、地域を訪れる観光客が人吉駅周辺を目的地とし、さらに交通手段として肥薩線の選択にもつながっている



◆2026年度（中期計画終了年度）で目指す姿

- 人吉駅舎及び周辺観光施設の整備に向けて、具体的な整備内容や規模について、関係する市町村計画と連動した検討が行われている
- 費用の概算見積を徴取し、復旧工事等との一体的な計画・工事による費用低減や、国補助等の活用などを検討の上、初期投資の整理ができています
- 土地・建物の所有権等の権利関係を確認し、所有権移転の時期等の整理ができています



◆各年度の実施事項

実施項目	実施主体	2025年度	2026年度
駅および駅周辺整備の項目整理、概算見積	☆市町村、県、JR	<ul style="list-style-type: none"> ● 整備内容の精査 	<ul style="list-style-type: none"> ● 概算見積の徴取 ● 国補助等の活用検討
事業スキームおよび費用の詳細化	☆県、市町村、JR	<ul style="list-style-type: none"> ● 人吉駅舎の権利関係の整理 	<ul style="list-style-type: none"> ● 事業スキームの確認 ● 復旧後の権利関係の確認
SL人吉動態保存化、博物館等建設の詳細化	☆市町村	<ul style="list-style-type: none"> ● SL人吉動態化の内容詳細化 	<ul style="list-style-type: none"> ● SL人吉動態保存の在り方の検討 ● 博物館等の整備内容の精査

6 地域を代表する観光列車の導入

◆2033年度（復旧時点）で目指す姿

- 被災前のSL人吉に相当する地域を代表する観光列車として、「球磨川の雄大な自然を堪能」、「地域の魅力との出会い」をテーマとした観光列車を新規に導入し、土休日を中心に1日1往復程度走行している
- 当該列車は、くま川鉄道や肥薩おれんじ鉄道で走行する機会も設け、県南地域一体となった観光振興に活用している
- 被災前の「かわせみ やませみ」、「いさぶろうしんぺい」に相当する観光列車が、人吉～八代～熊本間で1日数往復程度引き続き走行し、観光利用にも日常利用にも活用できる速達列車として利用されている



◆2026年度（中期計画終了年度）で目指す姿

- 清流・球磨川を軸とした眺望や、地域の特産品やおもてなしも組合せた列車のあり方を詳細化できている
- 車両の新造（又は改造）に係るスケジュールが明確化されている
- 新観光列車の新造（もしくは改造）に係る費用、復旧後の運行に係る費用について、どのような費用負担の考え方とするか、具体的な費用の見積も踏まえた合意形成ができている



◆各年度の実施事項

実施項目	実施主体	2025年度	2026年度
盛り込むコンセプトの詳細化・取捨選択	☆県、市町村、JR	<ul style="list-style-type: none"> ● コンセプト案の企画 ● コンセプト案の絞り込み 	<ul style="list-style-type: none"> ● コンセプトの詳細化
費用規模、スケジュールの詳細化	☆JR、県	<ul style="list-style-type: none"> ● 概算費用の確認 ● 納期等のリードタイムの確認 ● スケジュールの詳細化 	<ul style="list-style-type: none"> ● 概算見積の徴取
費用負担スキームの詳細化	☆県、市町村、JR	<ul style="list-style-type: none"> ● 費用負担スキームの検討 	<ul style="list-style-type: none"> ● 費用負担スキームの関係者合意